

もいかわ通信

平成26年度 第54号 2月10日 発行
岩手河川国道事務所
盛岡出張所
〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444
FAX 019-636-1047

雫石川樹木ただいま伐採進行中

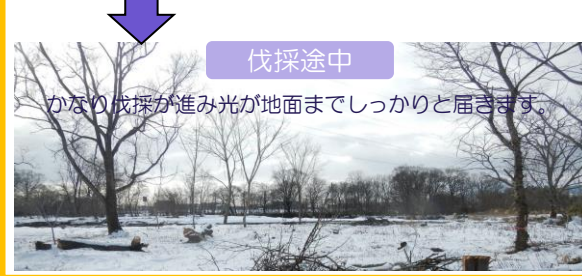
地域の方による杜の大橋下流の河川敷樹木伐採が1月17日から始まりました。

2月4日（水）午前9時過ぎ、現場には伐採しているチェーンソーの音がひびいています。

「チェーンソーで切るのは楽しいんだけど、木がとっても重くて運ぶのに大変」と汗を流しながらつぶやく伐採者さん。木を運び出すのにソリを準備していました。

今年は雪が少なく作業しやすいためか伐採の進みが早く、すでにさっぱりしている区画もありました。

樹木でうっそうとし不法投棄がされやすい環境にあった河川敷も、春にはうららかな陽ざしが奥まで行き届くさんぽ道になるでしょう。作業は3月までおこなわれます。



河川放浪記 鹿妻穴堰編



～盛岡出張所 雫石川管理区間の終点～

盛岡市本宮方面から御所湖方向へと太田側を進むと、冬景色の山をバックにぽこぽことオレンジ色の三つの屋根がアクセントになっている鹿妻穴堰が見えてきます。

ここに初めて堰が造られたのは、慶長4年（1599年）盛岡に城を築き始めた2代藩主南部利直の時代あたりだと言われています。堰造りには鉾山師・鎌津田甚六が任命され、雫石川を2年をかけて調査し「剣長根の岩山」と呼ばれる突き出た岩場に、長さ11メートル幅2メートルの取水口を造りました。この場所を選んだことは現在の土木工学でも的確だと言われています。

こうして雫石川からの取水ができるようになり、現在は農業用水だけでなく大雨の時の排水路として活用され大事な役目をこなしています。

